

平成25年度 三条市道徳部 活動報告

部長 金子 すみ子

1 今年度の活動の概要

- 6月21日(金) 活動名 「モラルジレンマ資料」の実践活用の説明
講師 小林 勝文先生 (三条小学校)
「モラルジレンマ資料」で「瀕死の重傷を負った息子の命を救うため車を奪った父親の行動の是非。」(明治図書)を部員が児童となって、実際に授業形式で行った。
- 9月25日(水) 研修テーマ

感動する心を引き出し育てる道徳授業の工夫

- 授業研究 主題 「いのちを大切に作る心」3-1(2)
(自作資料名)「あやちゃんのおくりもの」(萌文社)・授業協議会
・「新教育課程研究集会伝達講習会」
講師 堀川 千恵先生(条南小学校) 小林 洋子先生(月岡小学校)

2 活動の実際

- 自作資料「あやちゃんのおくりもの」を視聴し、話し合う。(あやちゃんの絵や写真を提示し、どんな子だろうと軽く疑問を投げかけ、資料への興味付けとした。)

T 「あやちゃんはなぜ八千枚もの絵を描いたのでしょうか。」

C 絵をかくことが好きだからです。

C 絵をかくことが生きているしるしだからです。

T 「あやちゃんはあなたにどんな贈り物をくれましたか。」

C わたしは三瓶綾子さんからこんな贈り物をもらいました。(真剣に資料を聞いている子ども)
それは命です。命はただ一つしかありません。だから、三瓶綾子さんの命をせおって生きていきたいと思います。あとは笑顔です。綾子さんから笑顔をいただきました。だから、いつでもどんなことがあっても笑顔で生きていきたいと思います。

C 綾ちゃんは、心の笑顔の一等賞だね。わたしは一生懸命に生きた綾子さんから元気をもらって生きていくよ。八千枚の絵は生きている間に必死に描いたから、それが綾子さんの生きている証拠だね。綾子さんは生きていたかったですね。

C 綾子さんはいじめられていたけれど、決していじめた人に文句を言わないですごいと思います。もし、ぼくがいじめられていたら、綾子さんみたいにはでき(いのちの朝顔の歌をうたっている子ども)ません。綾子さんは白血病ともたたかってすごいなあと思いました。白血病になつてくやしいと思ったのが、うかんできました。ぼくも綾子さんみたいに強い人になりたいです。

〈先生の大好きなことば、「生きているだけで百点満点」を葉にして贈る。〉

「命の朝顔」の歌をうたう。

3 成果と課題

- ・研究授業は、とても有意義であった。今後も授業研究を軸にやっていきたい。
- ・今年度のように1回目はモラルジレンマの研修、2回目は「いのち」の研究授業と、とても充実した研修会であった。